

平成19年度 決算報告書

国立大学法人大阪教育大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,534	6,534	0	
施設整備費補助金	1,792	1,498	△ 294	(注1)
補助金等収入	—	55	55	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33	33	0	
自己収入	3,048	3,065	17	
授業料、入学料及び検定料収入	2,977	2,961	△ 16	(注3)
雑収入	71	104	33	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	236	304	68	(注5)
目的積立金取崩	200	46	△ 154	(注6)
計	11,843	11,535	△ 308	
支出				
業務費	8,669	8,368	△ 301	(注7)
教育研究経費	8,669	8,368	△ 301	
一般管理費	1,113	1,058	△ 55	
施設整備費	1,825	1,531	△ 294	(注8)
補助金等	—	54	54	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	236	177	△ 59	(注10)
計	11,843	11,188	△ 655	
収入-支出	0	348	347	

※ 金額については百万円未満の単位で四捨五入しているため合計が一致しないことがある。

○予算と決算の差異について

(注1) 施設整備費補助金については、(喜連他)耐震対策事業が翌年度へ繰越となったため、予算額に比して決算額が294百万円少額となっております。

(注2) 補助金等収入については、申請中の事業が交付決定されたため、予算額に比して決算額が55百万円多額となっております。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、入学者数及び志願者数が見込より減少したため、予算額に比して決算金額が16百万円少額となっております。

(注4) 雑収入については、主として科学研究補助金間接経費の受入等により、予算金額に比して決算金額が33百万円多額となっております。

(注5) 予算段階では予定していなかった国の各組織、特殊法人及び民間からの受託研究及び寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して68百万円決算金額が多額となっております。

なお、前年度からの繰越額、101百万円を含めている。

(注6) 目的積立金については、支出額の経費節減に努め、目的積立金を取り崩す必要が無くなったため、予算額に比して決算額が154百万円少額となっております。

(注7) 業務費については、教育研究経費、一般管理費において経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が301百万円少額となっております。

(注8) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が294百万円少額となっております。

(注9) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が54百万円多額となっております。

(注10) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が59百万円少額となっております。

なお、翌年度への繰越額は126百万円となっております。